



# 東っ子通信

E: 笑顔の自分を探そう  
A: 安心安全な学校  
S: 信じよう!! 自分の可能性  
T: 互いを認め合い共に学び合う仲間たち

“ T 互いを認め合い共に学び合う仲間たち ”

## 東っ子 修学旅行記

中学部2・3年生が9月27日(水)～29日(金)の2泊3日の旅程で、福岡・山口方面へ修学旅行に行きました。

三日間とも天気に恵まれ、日中は少し汗ばお感じてましたが、元気に活動することができました。

1日目は、諫早駅から西九州新幹線に乗りしました。座席の座り心地の良さに気づいたときには、「次は武雄温泉駅」のアナウンスがあり、21分間のあっという間の瞬間移動に「はやかあ。」と言いながら下車準備に取り掛かっていました。



武雄温泉駅からは貸切バスで、太宰府天満宮へ移動しました。受験を控えている3年生は、真剣な眼差しで参拝していました。



次に向かった福岡市科学館では、無重力体験や体験型の展示に興味津々。科学を楽しむことができました。

2日目は、海響館と門司港レトロ地区に行きました。海響館では、イルカとアシカのショーに魅せられたり、海中トンネルの水槽の中を泳ぐ魚を上から下から観察したりしていました。ダイナミック

に泳ぐ魚に「お～」と感激したり、餌をもらうペンギンの可愛さにみんな思わず笑顔になったりしていました。



関門海峡ミュージアムでは、門司港の美しい景色に感激し、海峡の歴史に触れることができました。昼食の瓦そば、ふく天井も美味しかったです。ホテルに向かうバスの中では、みんな熟睡。「疲れたあ」と言いながらも満喫した表情を浮かべていました。

最終日は、いのちのたび博物館の見学とホテルでのバイキング昼食。博物館では、大きなティラノサウルスが出迎えてくれました。さまざまな動物等のリアルな標本に驚き、今にも動き出しそうな



感じに、生徒からは「映画のナイトミュージアムではないですよ」「食べられそう」などの感想が聞かれました。バイキング昼食では、美味しそうな物がたくさん並べられており、生徒たちも自然と手を伸ばし、たくさん食べていました。

今回の修学旅行には、体調不良などの理由で残念ながら参加できなかった生徒がいました。旅先では参加できなかった友達のことを気遣い、友達へのお土産を考える生徒の姿が見られました。また、修学旅行期間中に生徒たちの間でよく聞かれた言葉は「ありがとう」でした。互いの何気ない行動に自然と「ありがとう」の言葉があちらこちらで聞こえました。感謝の気持ちを素直に表現できる生徒たち。互いに協力し合い支え合いながら活動できた表れだと、うれしく思いました。

今回の旅行を通して、生徒たちが学んだこともたくさんあったと思います。ぜひ、この経験を思い出として残すとともに、今後の生活に生かしてほしいと思います。



最後に、保護者の皆様、センターの皆様、そして、運転手さん ありがとうございます。旅行会社、見学先施設、宿泊ホテルなど御支援いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

